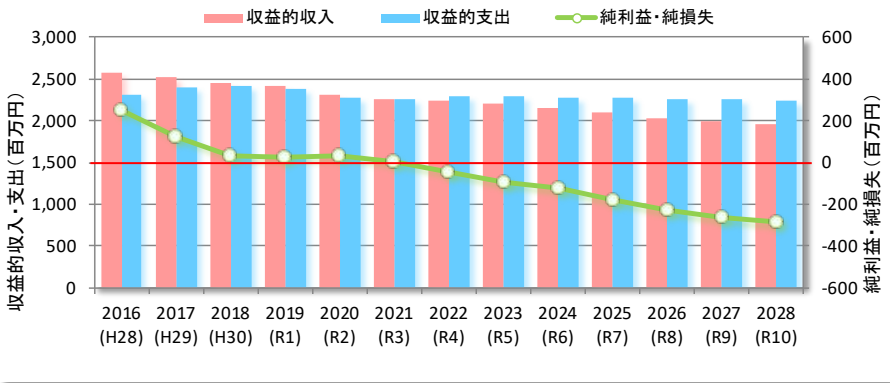
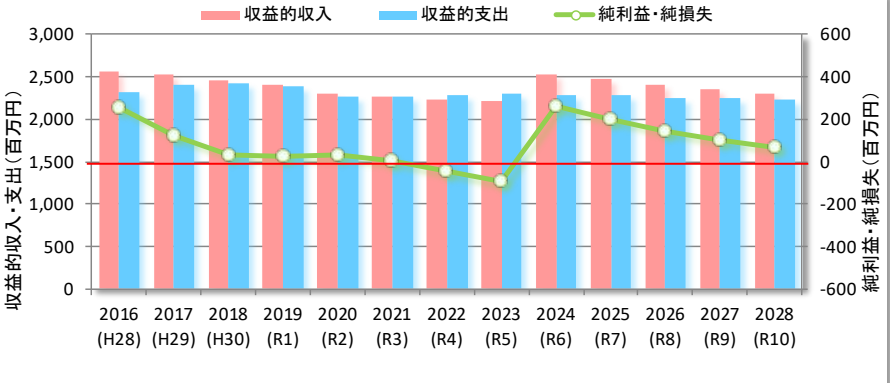
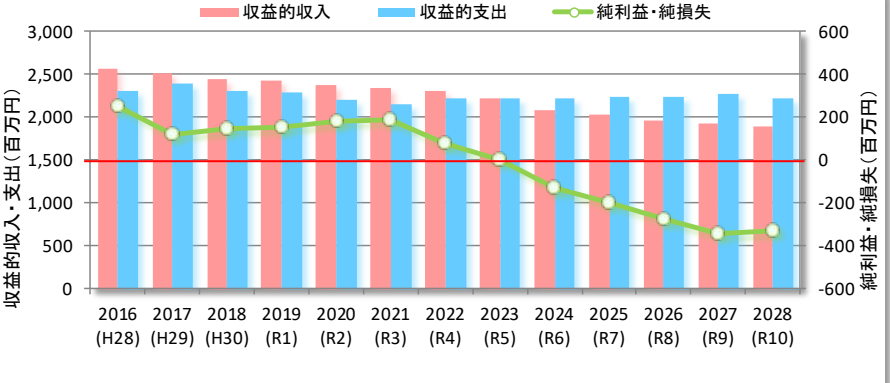
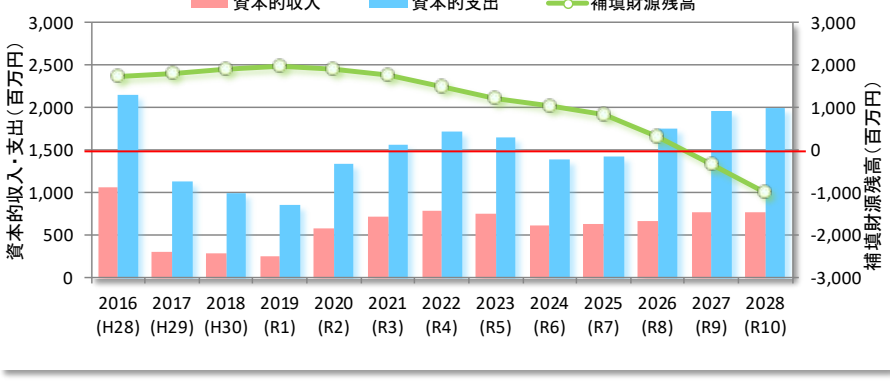
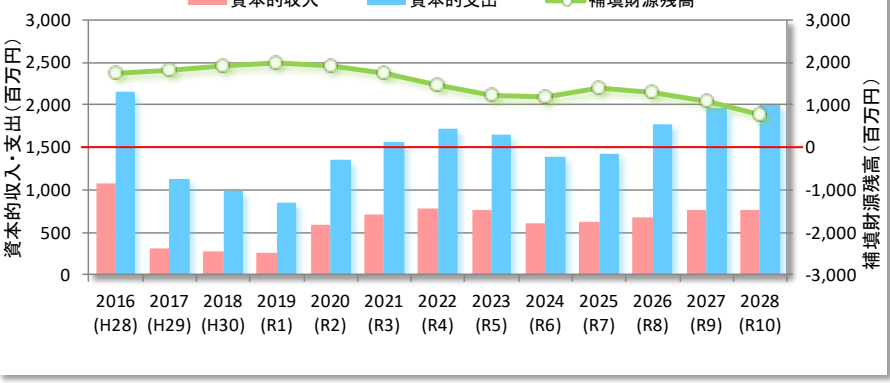
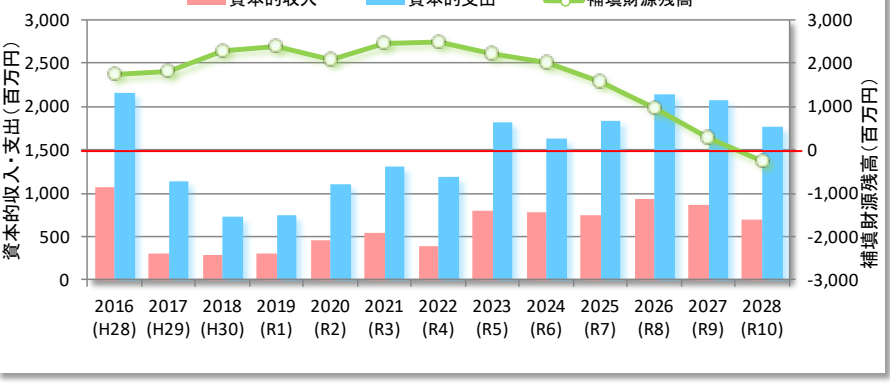
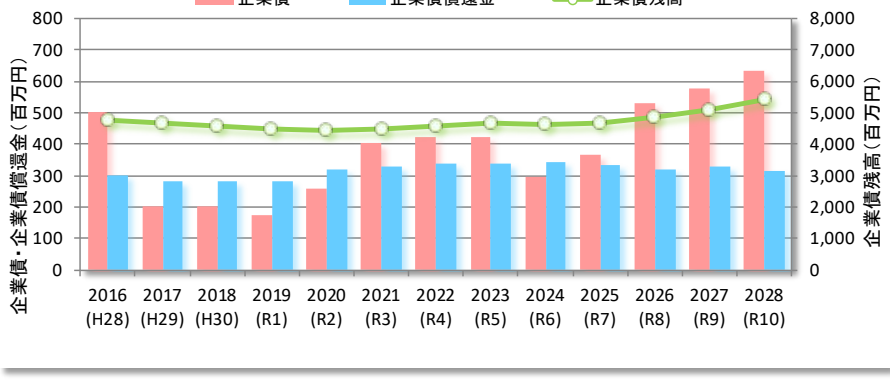
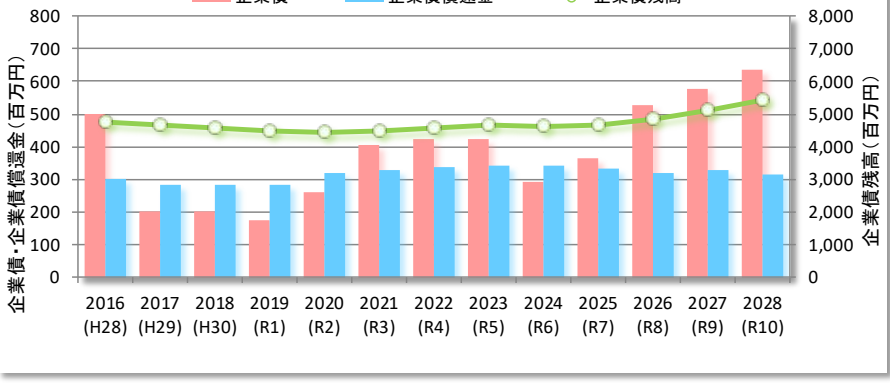
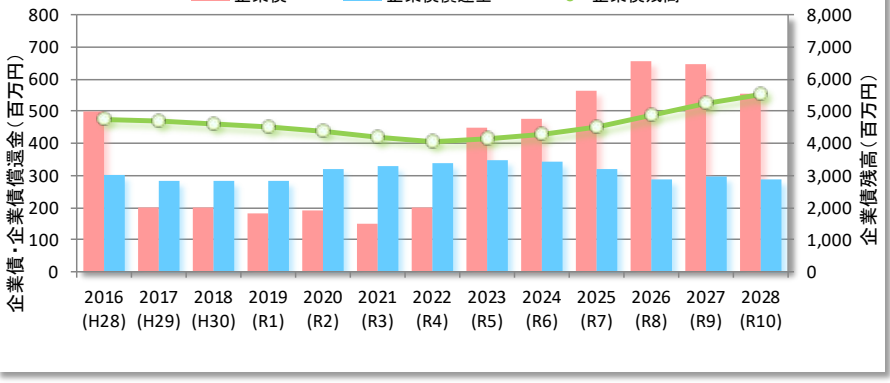


	現行ビジョン 料金据置ケース 現行料金を据置きする	現行ビジョン 料金改定ケース R6 に料金改定（約 25%UP）を行う	今回中間見直し（料金据置） 現行料金を据置きする
収益的収支	 ● 人口減少等による有収水量減の影響で、料金収入は徐々に減少する ● R3 に収支がほぼ均衡し、以降支出が収入を上回る	 ● 料金据置ケースの収益的収支の赤字や資本的収支の補填財源残高不足を解消するため、R6 に料金改定を行う ● 料金改定により、R6 以降、黒字を維持する	 ● 人口減少等による有収水量減の影響で、現行ビジョンより将来の収益的収入が減少する ● 収益的支出は動力費や物価の上昇等を考慮したものの現行ビジョンとあまり変わらない（給水量の減少に伴う受水費の減などで相殺） → R6 以降、支出が収入を上回り、赤字に転じる
資本的収支	 ● R10 に約 10 億円の資金が不足する	 ● 料金改定により補填財源残高不足が生じなくなる	 ● R10 に約 3 億円の資金が不足する ● 当初から予定していた施設整備の計画内容や工期の見直しなどにより、現行ビジョンより今後の資本的支出が増加する（これに伴い資本的収入も増加）
企業債	 ● R10 における企業債残高は約 54 億円となる	 ● R10 における企業債残高は約 54 億円となる（料金据置ケースと同じ）	 ● R10 における企業債残高は約 55 億円となる ● 将来の企業債が現行ビジョンより若干増加する

収益的支出
内訳

現行ビジョン (両ケース共通)

収益的支出

金額 (百万円)

2016 (H28)

2017 (H29)

2018 (H30)

2019 (R1)

2020 (R2)

2021 (R3)

2022 (R4)

2023 (R5)

2024 (R6)

2025 (R7)

2026 (R8)

2027 (R9)

2028 (R10)

営業外_その他

支払利息

減価償却費

経費

職員給与費

9	10	11	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
94	88	80	75	71	68	68	68	69	67	69	73	79
1,089	1,071	1,086	1,069	975	971	980	996	1,010	1,022	1,008	1,000	986
940	1,063	1,075	1,061	1,050	1,052	1,075	1,082	1,044	1,040	1,035	1,031	1,025
184	168	167	161	161	154	145	139	139	139	132	132	132

収益的支出
内訳

今回中間見直し

収益的支出

金額 (百万円)

2016 (H28)

2017 (H29)

2018 (H30)

2019 (R1)

2020 (R2)

2021 (R3)

2022 (R4)

2023 (R5)

2024 (R6)

2025 (R7)

2026 (R8)

2027 (R9)

2028 (R10)

営業外_その他

支払利息

減価償却費

経費

職員給与費

9	10	10	11	16	12	27	11	37	37	37	37	37
94	88	81	75	69	63	57	53	51	54	58	66	73
1,089	1,071	1,081	1,069	1,021	992	976	928	958	983	988	995	962
940	1,063	978	994	967	948	1,055	1,083	1,047	1,043	1,037	1,048	1,025
184	168	153	134	124	133	113	126	130	130	130	130	130

● 収益的支出の大半は減価償却費と経費（動力費、委託費、受水費など）である
※令和４年度以降の動力費は委託費に含む

収益的支出_経費

金額 (百万円)

2016 (H28)

2017 (H29)

2018 (H30)

2019 (R1)

2020 (R2)

2021 (R3)

2022 (R4)

2023 (R5)

2024 (R6)

2025 (R7)

2026 (R8)

2027 (R9)

2028 (R10)

その他

受水費

委託費

動力費

185	159	174	173	173	118	112	112	101	102	103	102	102
270	268	235	235	225	219	212	208	233	230	227	225	222
410	553	584	573	574	638	751	762	710	708	705	704	701
75	83	82	80	78	77	0	0	0	0	0	0	0

● 日野浄水場の他、老朽化した設備や管路の更新による減価償却費の加算や物価上昇による増加を見込んでい
るが、一方で受水費などの減少もあり、現状と比較して若干増加する見通しである（現行ビジョンとの比較
では総額はあまり変わらない）

資本的支出
内訳

現行ビジョン (両ケース共通)

資本的支出

金額 (百万円)

2016 (H28)

2017 (H29)

2018 (H30)

2019 (R1)

2020 (R2)

2021 (R3)

2022 (R4)

2023 (R5)

2024 (R6)

2025 (R7)

2026 (R8)

2027 (R9)

2028 (R10)

その他

企業債償還金

建設改良費

301	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
302	283	284	282	318	330	339	340	343	334	319	327	314
1,545	849	706	572	1,027	1,235	1,387	1,308	1,042	1,093	1,443	1,643	1,676

● 施設整備計画として、日野浄水場の更新、西之山配水池（第２分岐受水）の整備、配水池等構造物の耐震診
断、機械・電気設備の更新、管路の更新・耐震化を予定している

資本的支出
内訳

今回中間見直し

資本的支出

金額 (百万円)

2016 (H28)

2017 (H29)

2018 (H30)

2019 (R1)

2020 (R2)

2021 (R3)

2022 (R4)

2023 (R5)

2024 (R6)

2025 (R7)

2026 (R8)

2027 (R9)

2028 (R10)

その他

企業債償還金

建設改良費

301	1	1	0	0	0	0	150	0	0	0	0	0
302	283	284	282	318	330	339	347	345	320	289	295	290
1,545	849	438	459	781	971	839	1,321	1,280	1,510	1,856	1,770	1,473

● 日野浄水場の更新、西之山配水池（第２分岐受水）の整備、管路の更新・耐震化など計画内容や工期の見直
しを行っている